

様式第2号（第9条関係）

会議録

会議の名称		令和6年度廃棄物減量等推進審議会第1回会議
開催日時		令和6年10月30日（水） 開会 午前10時 閉会午前11時30分
開催場所		ふじみ野市役所本庁舎5階 A501・502 会議室
出席した者		・ 廃棄物減量等推進審議会委員 森下会長、横田副会長、伊藤委員、大平委員、湯川委員、鈴木委員、松原委員、富田委員、神木委員、塩野委員、成尾委員 ・ ふじみ野市 ・ 事務局（環境課） 坂本課長、齋藤係長、吉田主任、長谷部主事
会議の議題		1 会議 (1) 開会 (2) 会長あいさつ (3) 議題 一般廃棄物処理基本計画の進捗状況 災害廃棄物処理計画について (4) その他 (5) 閉会
会議の公開又は非公開の別		公開
会議の非公開の理由		—
傍聴人の数		—
会議の内容		別紙のとおり
会議資料		別添のとおり
事務局		市民活動推進部 環境課
議事の確定	確定年月日	令和6年11月12日
	記名押印 又は署名	役職名 会長 森 下 英美子

別紙

発言の要旨

発言者	発言の要旨
森下会長	議題「一般廃棄物処理基本計画の進捗状況」「災害廃棄物処理計画」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	○配布した【資料１・２】に基づき説明
森下会長	説明について何かご質問等ありますか。
松原委員	食品ロス対策として、飲食店向けに持ち帰り等の啓発を行っているとのことだが、食中毒の問題等、難しい側面もあると思う。自己責任がうまく伝わらずに、何かトラブル等で市に問い合わせがあった場合等は飲食店への指導は行っているのか。
事務局	市としても、直接的にドギーバッグを配布したり、指導したりというよりは環境省のツールを飲食店の皆さんに各々利用してもらう方向で考えている。最終的にはどうしてもお客さんの自己判断になってしまうと思う。
森下委員長	子ども食堂なども心配しながら運営している現状である。今後は世の中に自己責任の流れがもっと広がってほしいと考えている。
森下委員長	紙パックはせっかく集めても処理方法がわからない場合もあるので、イベント時に集めてトイレトペーパーと交換する取り組みはとても良いと感じた。紙パックはどのようなものを対象としているのか。
事務局	牛乳やジュースなどのパックを対象としており、中がアルミ製のものは対象外である。
横田副委員長	ヨーグルトのパックはどうか。牛乳と同成分のため悩ましい。
事務局	ヨーグルトのパックは恐らく雑がみの部類になると思われる。紙パック、雑がみ、それぞれマークが製品に記載されているので、それを基準に分別をお願いしたい。

発言者	発言の要旨
横田副委員長	紙・パックを集めた後の処理はどうなっているのか。雨の日に紙類などの資源物を出していいものかいつも迷う。
湯川委員	紙製の資源物はリサイクルの工程として、一度溶かしてまた紙に再生するため、雨の日に排出していただいても問題ない。泥ハネなども基本的には水で洗い流せるが、(ごみに出す前の各家庭で落としきれない) 汚れや臭気の方が心配である。 ただ、水分を含んでしまうと重さが出るため、労力的にも収集員としては次回に出してもらえた方が有難い気持ちもある。
森下委員長	市民向けに雨の日も出せることをごみ BOOK 等に明記したらどうか。
鈴木委員	紙類の資源物については、雨で重量が増えたことによって、ごみの排出量や売り払い単価の問題とも絡んでくる。 晴天時に比べて、排出量は増えてしまうが、売り払い金額については収集業者(市)が得をすることになる。
森下委員長	議題「その他」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	乾電池袋の必要性について、以下の①～③の今後の方向性も含め意見を伺いたい。 ①例年通り BOOK と併せて配布する ②ゆくゆくは廃止する ③配布方法や作るタイミングを変更する
神木委員	現状の年間1世帯1枚で実際には足りているのか。
事務局	家庭から出る電池量が多くないこと、乾電池袋以外でも出せることから、現状不足しているわけではないと考えている。
神木委員	乾電池袋以外でも出せるとのことだが、乾電池袋とそれ以外だと使用されている比率はどのくらいか。
事務局	正確な数字は示せないが、実際に収集を体験した時の体感として、乾電池袋はそう多くない印象である。

発言者	発言の要旨
神木委員	恥ずかしながら私は乾電池袋の存在を知らなかった。防災訓練時などに配布して啓発してはどうか。
横田副委員長	作業員の安全は確保した方がよいと思うが、別の袋でも出せるので不便は感じていない。
神木委員	啓発が進んでいるのであれば、なくてもよいのではないか。
森下委員長	配布前と配布後の事故件数はどうか。
事務局	数字では示せないが、配布後は事故件数が減っていると思う。
森下委員長	②③を同時に実施する方向でどうか。 完全になくさず、配布方法を変えたらどうか。
塩野委員	かつては2枚配布されていたと記憶している。別の袋でも出せることを広報すれば配布しなくてもよいのでは。
事務局	手違いで令和6年度版の乾電池袋が挟まらないまま市内の半分近くの世帯に市報が配布されてしまった経緯があったが、ほとんど問い合わせがなかった。一定程度、別の袋で出せることも周知が図られていると認識している。
神木委員	三芳町はどのような対応か。
事務局	三芳町でも同様の配布は行っており、今後の進め方については足並みをそろえるよう話し合いを行いたいと考えている。
森下会長	では、広報及び三芳町との協議を進めつつ、ゆくゆくは廃止という方向で審議会としては意見をまとめたいと思う。
森下会長	他に何かありますでしょうか。
松原委員	飲食店向けのチラシについては、いつ頃運用を開始したのか。

発言者	発言の要旨
事務局	今年の9月頃からである。
松原委員	食品ロス量の数字が古いものになっている。 現在はもう少し少なくなっているはずであり、減っているという効果を示すことで、市民や事業者の取り組みを促すことができるのではないか。
事務局	国のツールをそのまま利用しているため、今後は国の動向を伺いつつ、効果を示すなどの手法を取り入れて、進めていきたい。
森下委員長	日頃から学生の食品ロスに対する意識のずれを痛感している。 「食品ロス対策」に取り組もうといった時に「農家の廃棄野菜を積極的に食べよう」という案を挙げた事例があり、論点がずれているなど感じたことがあった。 自分も生活の中で食品ロスを出してしまっていると意識させるような、自分事として捉えられるような啓発が大事と感じる。
森下会長	他にないようであれば、今日の会議はこれで終了とさせていただきたいと思います。閉会については、副会長よりお願いします。
横田副会長	『令和6年度ふじみ野市廃棄物減量等推進審議会第1回会議』を閉会いたします。 ありがとうございました。